

平成29年第4回定例会

議 長 報 告

(仮称) 新福社会館機能に係る議員間討議結果について

## 議 長 報 告

### (仮称) 新福祉社会館機能に係る議員間討議結果について

本議会は、平成29年第3回定例会において、議員案第39号「市民サービスの充実に向け、(仮称) 新福祉社会館の床面積の弾力的見直しを求める決議」を可決いたしました。先日の閉会中に行われました庁舎及び福祉社会館建設等調査特別委員会の中で、市長部局側から、決議を踏まえた対応については検討を行っていないとの答弁がありました。そうした状況を受けて、特別委員会として、市議会としての最大公約数の意見を取りまとめ、(仮称) 小金井市新福祉社会館建設基本計画に反映させるため、市は努力することなどを求めることを確認しました。そしてこの間、会派代表者会議及び委員会協議において、どのように市議会としての意見を取りまとめるか等について協議した結果、市長部局側から提示されたスケジュールも鑑み、市議会として最大公約数の意見を取りまとめるために平成29年12月20日に議員間討議を開催しました。

当日の討議では、最大公約数として概ね全議員の3分の2に当たる16人以上の賛成を目途とし討議を行いました。その結果、以下の5つの項目について、市議会として最大公約数の意見として取りまとめたので報告させていただきます。

#### 1 福祉総合相談窓口について

総合相談のあり方についての検討・具体化がほとんど行われていない現状がある中で、市が庁内の総合相談の体制等について早急に検討し示すべきであるという意見が大勢でした。

よって、福祉総合相談窓口の設置場所については、総合相談のあり方を検討・具体化したうえで決定すべきであり、新福祉社会館内への福祉総合相談窓口の設置について、行政決定すべきではないと考えます。

#### 2 小金井悠友クラブ連合会事務局について

新福祉社会館に悠友クラブ連合会事務局機能を導入すべきとの意見が多数でした。

#### 3 地域の高齢者サークル等の居場所について

地域の高齢者サークル等の居場所について確保すべきとの賛成意見が3分の2

以上を占めました。旧福祉会館には、地元の高齢者グループなどが活動していましたが、施設の老朽化により突然閉鎖された経緯がありました。

高齢者グループや福祉的な活動を行う市民団体の活動場所を確保するため、優先予約を導入するなど工夫すべきとの意見がありました。

#### 4 シルバー人材センターについて

元の福祉会館建設計画の中に含まれていたこともあり、シルバー人材センター側の意向を確認することを前提とした上で、事務局機能を新福祉会館に入れるべきだとする意見が3分の2を占めました。

#### 5 福祉共同作業所について

福祉共同作業所について、福祉共同作業所が希望する場合には、導入すべきであるとの意見が3分の2を占めました。

主な意見としては、元来、導入すべき機能であること。環境変化を不得手とする方がいるので移転回数は最小限にとどめるべきであること。利用者の声を尊重すべきであること。障がいのある方と会館利用者の相互理解が深まることでした。

以上、報告いたします。